

第641回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 平成21年7月21日豪雨災害復旧事業 防府市勝坂地区等

- 山口県防府市では、平成21年7月21日9時18分までの1時間に72.5mm、24時間が275mmと観測史上最大の降雨を記録。
- 公共土木施設災害は県内全域で1,351箇所、118億円の被害が発生。査定は被災から概ね2ヶ月で終了し、1,345箇所、100億円の決定。
- 県は防府市と山口市に対する災害救助法の適用を決定し、国は同日防府市と山口市に対する被災者生活再建支援法の適用を決定。
- 災害復旧に向け、知事から国に復旧・復興事業の実施を要請。「大規模災害時に地域の要請を受けて国が砂防工事を実施できる制度（平成21年3月31日国土交通省令改正）」の下では初めて適用され、国土交通省の直轄砂防事業として、防府市内の5溪流にて事業を実施（堰堤8基、堰堤嵩上1基、土石流堆積工2箇所、溪流保全工3箇所）。



2. 新山口駅ターミナルパーク整備事業 山口市小郡下郷

- 「山口県の陸の玄関としての快適かつ個性的な都市空間の形成」に向けて、国の社会資本整備総合交付金を活用。
- 駅周辺は市と県の陸の玄関にふさわしいにぎわいを創出し、県中部圏域の活性化を図る「ターミナルパーク整備」を実施。
- 7つの施設整備を実施。①南北自由通路、②橋上駅舎、③北口駅前広場、④南口駅前広場、⑤既存自由通路、⑥市道矢足新山口線、⑦アクセス道路。
- 南北自由通路は、駅南北の一体性の確保の促進を図り、都市と自然の調和した滞留・交流空間を創出。
- 南北駅前広場は、安全で効率的な交通動線の確保、路線バス機能を集約するなど交通機能を再配置し、交通結節機能を強化。また、「まちと駅をつなぐ」にぎわいを創出する駅前広場として整備。
- 市道矢足新山口駅線は、南北のシンボル軸において、北側のシンボルロードとして位置づけ、周辺地域への回遊が図られるように、無電柱化、美装化や緑化などを整備。



3. 都市緑化やまぐちフェア～山口ゆめ花博～会場整備 山口市阿知須

- 平成30年に開催の都市緑化やまぐちフェアは、明治150年を迎える年であり、山口県が明治維新に重要な役割を果たしたことを振り返り、新しい日本と山口県のあり方を考え、実現に向かうフェア。
- 夢の未来公園をコンセプトに6つの特徴を掲げ実施し、8つのゾーンに分けて整備。（コンセプト）①咲き誇る1,000万本の山口県の花、②山口県から始まる「子どもの育ちを支える公園」、③日本一に挑戦、④ファンタスティックなナイトプログラム、⑤心躍る1,000のイベントと体験イベントと体験プログラム、⑥新しい公園の夢を持ち寄る県民参加プログラム・（ゾーン）8つのゾーンに分けて実施。① ウェルカムゾーン、②花の谷ゾーン、③庭のパビリオンゾーン、④森のピクニックゾーン、⑤山の外遊びゾーン、⑥海の外遊びゾーン、⑦2050年の森ゾーン、⑧海の大草原ゾーン。



4. ときわ動物園リニューアル整備事業 [H28年度全建賞] 宇部市則貞

- ときわ動物園は開園後50年以上が経過したことから平成24年度よりリニューアル整備を実施。
- 整備に先立ち、基本計画作成時に4回の市民ワークショップを実施し、それらを踏まえた基本計画（案）に対して、パブリックコメントを募集し、広く意見を収集。
- 我が国で、はじめての全園の本格的な生息環境展示を実現。
- 野生動物の生息環境を再現し、生息環境展示に整備した事業。ワークショップやパブリックコメント形式により、様々な方々の意見を取り入れるとともに、自然・環境を学ぶ場として、日本で初めて全園を生息環境展示で本格的に整備を実施するなど、開園50年以上経過した本公園を新たな観光拠点施設として再整備したことが高く評価され、平成28年度全建賞を受賞。

